

- ・様式の変更はできません。枠を超える場合は別紙として添付してください。
- ・様式に記載されている文字は消さずに残してください。
- ・研究目的を同じくする同一プロジェクトの中の実験は、可能な範囲で一つの計画書にまとめてください。

様式第1号（第10条関係）

（西暦で記入）年 月 日

国立大学法人大分大学長 殿

国立大学法人大分大学動物実験程（平成19年規程第91号）第10条により、下記のとおり動物実験計画書を提出します。

動物実験計画書

Webチェックではなく、講習会の最終受講歴を記入。受講が無い場合は計画書に記載できません。

研究課題						
講座等責任者	フリガナ 氏名 e-mail	連絡先 線番号 HS等	所属又は担当先	職名	教育訓練の有無 直近の講習受講	
					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	
動物実験責任者	フリガナ 氏名 e-mail	線番号 HS等			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	
動物実験実施者名 (講座等責任者、動物実験責任者以外の実験実施者を記入。 5人以上いる場合は別紙として添付)	フリガナ 氏名 e-mail	内線番号 HS等			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	
	フリガナ 氏名 e-mail	線番号 PHS等			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	
	フリガナ 氏名 e-mail	内線番号 PHS等			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	
	フリガナ 氏名 e-mail	内線番号 PHS等			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (西暦)年 月	

講座等責任者および動物実験責任者が変わる場合、中止・完了報告書を提出し、新規計画書にて実験の継続を申請

動物実験実施者の変更、追加の際は、変更申請書を提出

実験期間	承認後～ (西暦で記入)年 3月 31日 (当該年度末まで。更新年限は最大5年間)				
使用動物 (動物種・齢ごとに齢分けて記入。系統が複数ある場合は同一枠内に記載。)	動物種	系統	齢 使用数		合計数 入手方法 (譲受の場合の導入元)
			♂	♀	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 譲受 ()
			♂	♀	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 譲受 ()
			♂	♀	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 譲受 ()
動物実験の目的 (項目ごとに記載)	(目的) 2-3行程度で十分量記載してください				
	(意義) 2-3行程度で十分量記載してください 動物を用いることの意義(代替法を用いることができない理由)を記載してください (予想される成果) 2-3行程度で十分量記載してください 予想される“実験の結果”ではなく“科学的・社会的成果”を記載してください				
飼養保管場所 (該当項目を■)	<input type="checkbox"/> 動物実験棟内 <input type="checkbox"/> 動物実験棟外 (実験動物管理者名 許可番号)				

<p>実験実施場所 (該当項目を■)</p>	<input type="checkbox"/> 動物実験棟内 <input type="checkbox"/> 動物実験棟外 (実験動物管理者名 _____ 許可番号 _____)		
<p>特殊実験区分 (該当項目をすべて■)</p>	<input type="checkbox"/> 1 感染実験及び化学的危険物質投与実験 ア 種類 <input type="checkbox"/> 感染 (安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3) <input type="checkbox"/> 化学発癌 <input type="checkbox"/> 重金属 <input type="checkbox"/> 化学及び生物毒 イ 使用病原体, 物質, 組換え生物名 (_____) ウ 動物当たり投与量 (_____) エ 感染 (投与) 経路 (_____) オ 病原体 (物質) の排泄経路と他動物への感染 (影響) 危険度 (_____) <input type="checkbox"/> 2 遺伝子組換え生物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A (承認番号: _____) <input type="checkbox"/> 3 放射性同位元素・放射線使用実験		
<p>具体的な研究方法</p> <p>(「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。枠を超える場合は別紙として4頁以降に記入し、添付する)</p>	<p>(動物に加える処置・麻酔・安楽死の方法を具体的に記入し、処置ごとに「想定される苦痛のカテゴリー」を記入)</p> <p>以下の注意に従い、十分記載してください。</p> <p>①すべての処置について、ひとつひとつ処置毎に苦痛のカテゴリーを記入</p> <p>②麻酔を含む投薬などについては、薬名、投与量、投与経路、頻度などを詳細に記入</p> <p>③手術などを伴う実験の場合は、術前および術後管理についても詳細に記入</p> <p>④人道的エンドポイントを設定する必要がある場合 (特に苦痛カテゴリーDを含む実験の場合)、エンドポイントを判断する具体的な症状を記入</p> <p>⑤年度末の更新を予定している場合、当該実験計画の大まかな研究実施予定期間を記入</p>		
<p>動物実験の種類 (該当項目をすべて■)</p>	<input type="checkbox"/> 1 試験 <input type="checkbox"/> 2 研究 <input type="checkbox"/> 3 教育 <input type="checkbox"/> 4 訓練 <input type="checkbox"/> 5 その他 (_____)	<p>代替法の検討内容 (該当項目を■)</p>	<input type="checkbox"/> 1 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった <input type="checkbox"/> 2 検討した代替手段の精度が不十分だった <input type="checkbox"/> 3 その他 (_____)

